



Sharing Caring Culture  
Non-Profit Organization

男女共同参画センター横浜北  
2020年度「公募型男女共同参画事業」



アートフォーラムあざみ野

# 外国人と考える With コロナ時代の ジェンダーギャップ

## Part 1

2020年 11月14日 (土)

## Part 2

2021年 2月6日 (土)

ともに 14:00~16:00



全2回  
ワークショップ  
通訳つき

定員 15名

ワンオペ育児、家事と仕事の両立など  
一人で抱えすぎていませんか？

2019年に世界経済フォーラムで発表されたジェンダー・ギャップ(男女格差)指数によると、日本は153カ国中121位。コロナ禍で在宅勤務へと働き方が変化し、家庭が職場になるなかで、性別役割分業意識など、女性に不平等な社会の仕組みが浮かび上がりやすくなりました。

横浜市都筑区、青葉区で活動するNPO法人Sharing Caring Cultureの外国人3名がゲストスピーカーとなり、日本のジェンダーギャップの姿を映し出します。さらに、グループワークを通して、一人ひとりが家庭で取り組めるアクションプランを考えていきます。

●会場● アートフォーラムあざみ野 2F セミナールーム

●申込み● 10月15日 (木) ~

※2回ともに参加できる方を優先します ※本イベントは事前入金が必要です

●申込み方法●

右記のQRコードを読み取って、申込みフォームからお申込み  
または、氏名、電話番号、E-mailアドレス、参加の動機を記入のうえ  
info.sccjapan@gmail.comまでお申し込みください。



申込み用QRコード

参加費 2回で  
¥1,000

(資料代込み)

●保育● 1歳6ヶ月~未就学児(4日前までに要予約・有料)

☎子どもの部屋(直通)045-910-5724

※経済的に困難な事情がある横浜市内在住・在勤・在学の方には、保育料が免除される制度があります。

詳細は☎045-910-5700までお問い合わせください。

主催・お問い合わせ

NPO法人Sharing Caring Culture

<https://sharingcaringculture.org>

※この事業は、男女共同参画センター横浜北との協働事業として実施します。

※提供された個人情報は、今回の事業実施のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の目的で、行政機関等から、法令に基づき情報の開示を求められた場合は、第三者への提供を行うことがあります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、荒天、天災等によって、本企画は、中止・延期・開催方法の変更をする場合がございます。あらかじめご了承ください。

# Guest Speakers ゲストスピーカー & Facilitators ファシリテーター



日本で生活する外国人在住者が感じるモヤモヤとは？  
もしかしたら、私たちが当たり前に思っていることも、実は世界から  
みると違うのかも！ジェンダーに目を向け、より良い家族の関係性を  
つくっていくためにできることは何か、一緒に考えてみませんか？



Zoe ゾーイ



2020年1月に来日。オーストラリアで起業し、Everywhere Venues 専務取締役のほか、Appiwork取締役を務める。日本人の夫と3人の娘と暮らす。熱心なフェミニストで個人としての生きがい追求しつつ、家族とのバランスを保つのが難しい日本で奮闘中！オーストラリアでは、国際女性デーの運営や女性起業家のネットワーキングイベントに関わるほか、州政府産業省による女性起業支援にも携わってきた。フェイスブックグループGender Equality Japan を立ち上げ、日本人に男女格差について啓発する機会をつくっている。



Sofia ソフィア



日本企業で働く夫の赴任に伴いインドネシアより2014年来日。インドネシア人の夫と息子の3人で暮らす。母国では、Jurnal Perempuanの記者やUNDP国連開発インドネシア支部でプログラムオフィサーを務め、国内外の組織とともにジェンダー問題を解決するプロジェクトに関わってきた。日本移住後もジェンダーについて、インドネシア語で記事を書くほか、絵を書いたり、絵本を自費出版したり、家事、育児をこなす。2018年にSharing Caring Cultureの子育て冊子OYACOの編集長を務めた。



Matthew マシュー



2007年にイギリスより来日。日本人女性と結婚、1男1女の父。母国では、コンピューターネットワークの専門職に従事。個人事業主向けにコンサルティング業や講演を行う。ホームスクーリングで長男を育てているため、家庭で義務教育を施し、子どもの教育に熱心に関わる。娘の幼稚園の入園にあたって、手作りの用意や準備が多いことにびっくり。働く母親の負担感が大きいのではと危惧している。2019年よりSharing Caring Cultureのウェブサイト管理のほか、事務局コーディネータを務める。

## 第1回 11月14日

＼いまの状態を知ろう／

How is this happening in your own life?

- ▶ ゲストスピーカーのインスピレーショントーク
- ▶ グループディスカッション
- ▶ QAセッション（質疑応答）

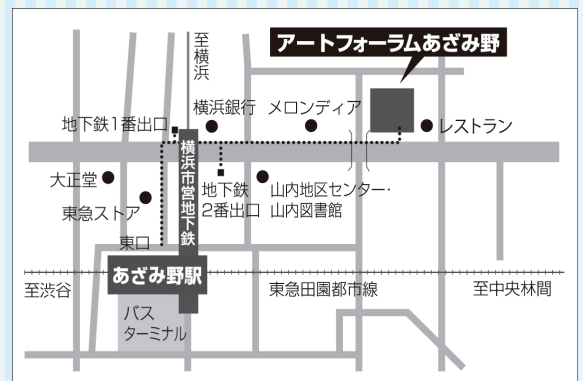
## 第2回 2月6日

＼どうりたい？／

What is the best case of scenario?

- ▶ アクションプランを考えよう（グループワーク）
- ▶ ポスターセッション
- ▶ QAセッション（質疑応答）

**\* いずれの回も日本語で参加できます！**



東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野」駅 徒歩5分

※ 駐車場は予約制（有料）

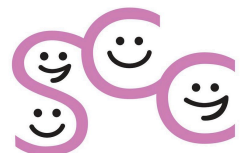
駐車場直通電話：045-914-5910

## Unleashing the POWER of DIVERSITY!

NPO法人Sharing Caring Culture(通称SCC)は、

- 異文化交流事業
- 外国人家族の子育て支援・相談事業
- 企業や行政との協働による多文化共生促進事業

に取り組みながら、外国につながる人たちがそれぞれの個性と潜在能力を地域で発揮し合うまちづくりを推進しています。



Sharing Caring Culture

Non-Profit Organization